

やっぱり止めよう！東西線

—「質問主意書」から見えてくる公共事業の実体—

「ごみ収集有料化」の理由は「財源不足」

いつの間にか検診の回数が減っている…

仙台市の人口は減りはじめる

1日に約12万人

乗るから

採算が合うんです

市民に迷惑は
かけません

保育所の空き持ち中の
子供の数は日本一

開業したら
年に100億の赤字？

17年も前のデータで
計算してます

“それってウソ？ ホント？”

かつて東京都民は
「世界都市博」を中止させた

18区間もの国道建設
一時凍結へ

公共工事は
始めてしまったら
止められない…

とき：2009年4月19日（日） 13時30分～

ところ：エルパーク仙台5F セミナーホール2

参加費：500円

主催：杜の市民力 お問い合わせ 090-2980-0155(18時～)

東西線、工事中。

木下況、進行中



暮らしを、圧迫中。

写真はイメージです。
イベントとは
直接関係ありません。

“それでも東西線要りますか？”

◆「質問主意書」って、何ですか？

国会議員が、内閣に質問するために出す文書のことです。TVなどで中継されることもある議場での「質疑」では議題に沿った質疑応答がなされますが、質問主意書では国政全般について内閣の見解をたずることができます。

◆「質問主意書」から見た「東西線」への疑問

地下鉄東西線には、仙台市税の他に国からも多額の補助金が投入されます。それを理由に、私たち「杜の市民力」は3回にわたって質問主意書を出し、回答を得ました。

「仙台市が言うように東西線は採算が取れる事業なのか？」

「公共事業を見直す際の基準はどうなっているのか？」

残念ながら、内閣からの回答は、私たちの疑問を解消するどころか、かえってそれを深めるものでした。

集会では、質問主意書と回答を解説しながら、改めて東西線計画について考えたいと思います。